



13

GUNDAM GP01Fb FULL BURNER

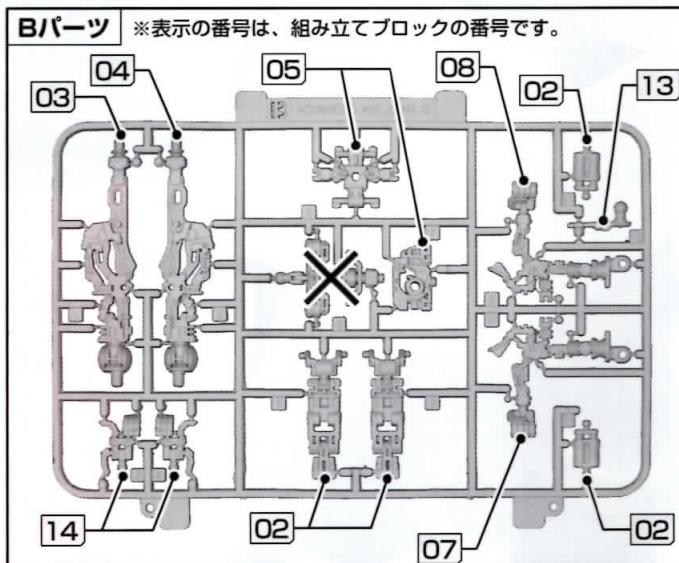
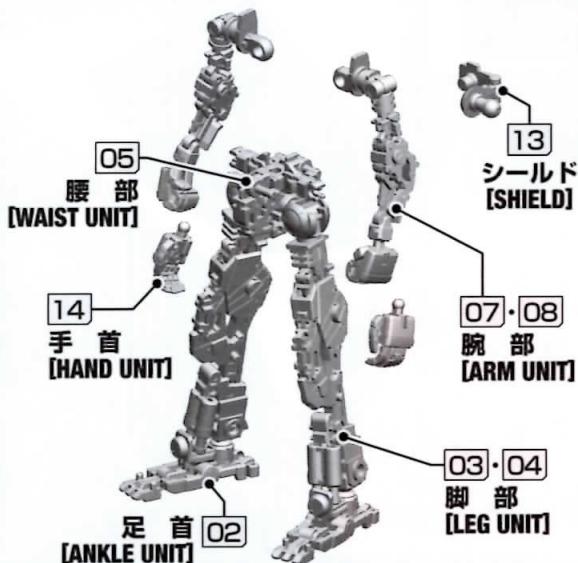
E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT

リアルグレード 1/144 スケールモデル ガンダム試作1号機 フルバーニアン

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
We want to tell all generations who know 'Gundam' of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.

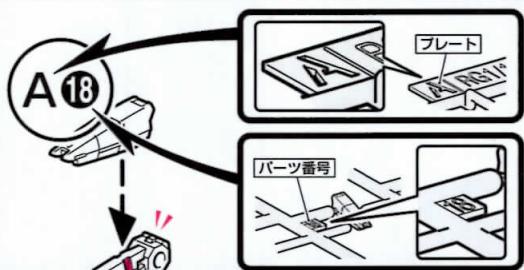
組み立て前の基本説明

アドヴァンスドMSジョイント5(Bパート)のフレーム構成は、図のようになります



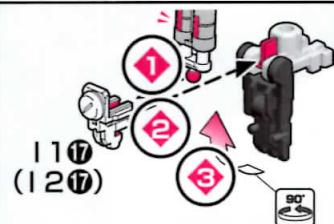
部品の探しかた

※説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探ししましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)



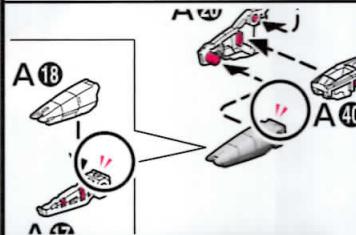
数字の順に組み立ててください

※組み立て図中に①②③のついている組み立ては、数字の順に組み立ててください。

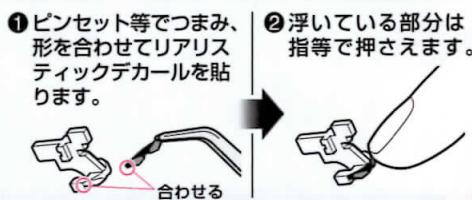


部品の向きに注意してください

※組み立て図中に「！」のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



リアリスティックデカールの貼りかた



アンダーゲートの切り取りかた

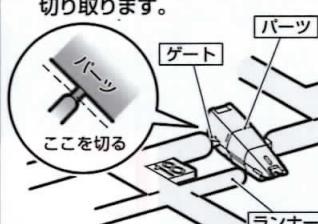
▶ アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書で「アンダーゲート」と表記されている部品には裏側等にゲートがあります。
「！」印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

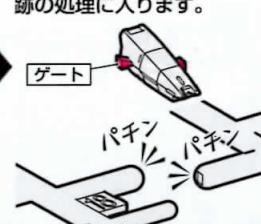


パーツの切り取りかた

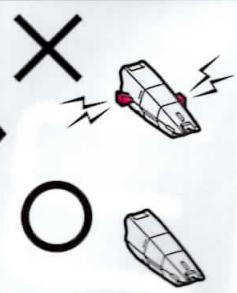
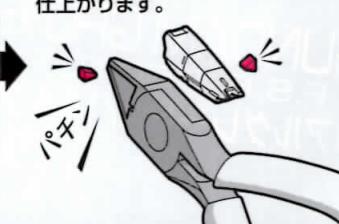
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 切り取った後のクズは捨ててください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

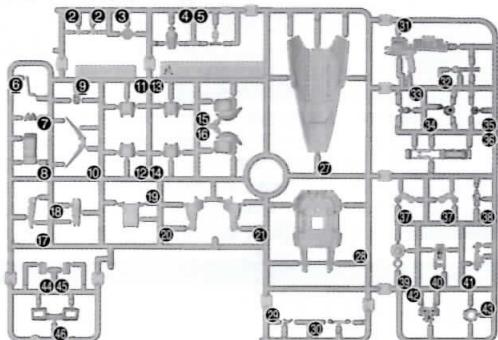
パートリスト

※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。
ピンセット等をご使用になると便利です。(道具類は付属しておりません。別にご用意ください。)

(X印は使用しないパートです。)

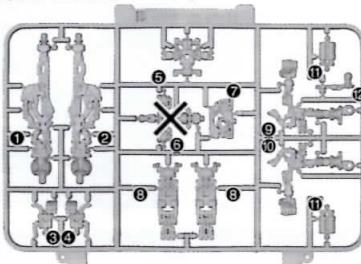
Aパート(イロブラ) アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



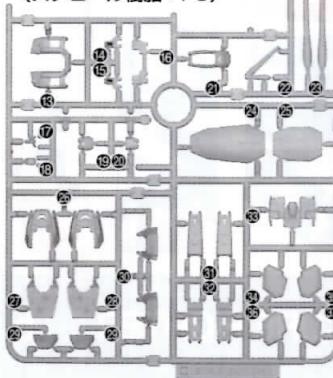
Bパート(ダークグレー)

(ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)



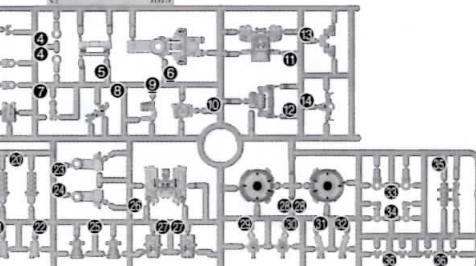
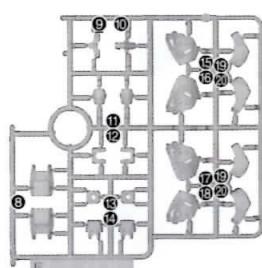
Cパート(イロブラ)

アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



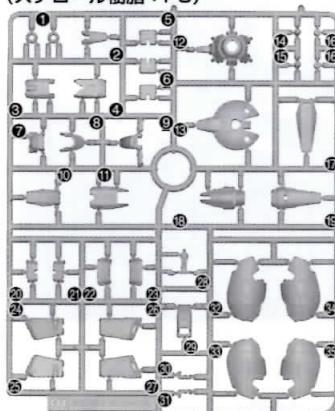
Gパート(ダークグレー) (ABS樹脂: ABS)

Fパート(ダークホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



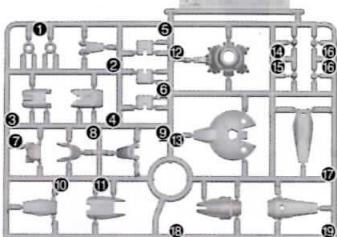
H1パート(ホワイト) アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



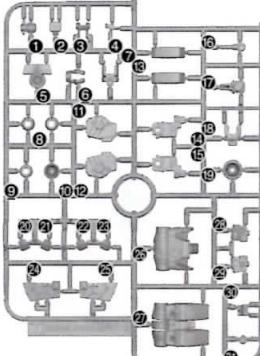
H2パート(ホワイト) アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



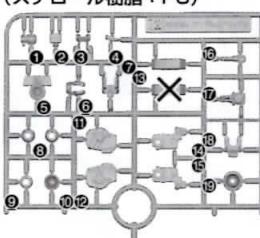
I1パート(グレー)

アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



I2パート(グレー) アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



※クリアーパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

リアリストックデカール……………1枚

「リアルグレード」は、その名のとおり「本物」であることを追求したブランドです。精密なディテールを豊富なカラーパーツと共に再現し、込められる限りの可動領域を、切り取るだけの組み立て済みインナーフレームへ搭載しました。モビルスーツを作る楽しみと興奮を、ガンダムを知る全ての世代へ。1/144スケールの手のひらサイズに込めた、数々のギミックをご堪能ください。

GUNDAM GP01Fb ZEPHYRANTHES FULL BURNERN



RX-78GPO1 ガンダム試作1号機は、地球連邦軍とAE（アナハイム・エレクトロニクス社）が共同で推進する「ガンダム開発計画」によって極秘裏に試作された実験用のガンダムタイプMS（モビル・スース）である。公国軍残党「デラーズ・フリート」によって強奪されたRX-78GPO2A ガンダム試作2号機を追って宇宙に上がった後、ゲルググM（マリーネ）隊との戦闘において大破したため、AEのフォン・ブラウン工場において大規模な改修を受けることになった。当初の予定では、汎用性の確保に関しては主機であるコア・ファイターIIなどを換装する事で対応する予定で、他にはショルダーパーニアポッド、脚部へのプロペラントタンクなどの追加のみという単純な工程が想定されていた。しかし、機体の損壊状況を鑑み、完全な宇宙用の機体として仕様変更されることになった。並行して各種のプランとそれまでの実働データが反映され、コア・ファイターIIは全面的に改裝されることになった。ブースト・ポッド装備の他、エアインテークユニットはリバース・スラスターに、エンジンブロック自体もMS形態時にはフレキシブルスラスターユニットとして機能するよう改修が施された。特に上半身の各パニアスラスターの可動域が拡大し、機動性や運動性が格段に向上することになった。基本的な追加装備は「GPO1」の設計案に盛り込まれていたものの、ここまで大規模な仕様変更是想定されておらず、AEサイドとしても峻別する必要があったため、機体ナンバーも「GPO1Fb」と変更された（これはあくまで便用上のもので制式番号ではない）。

|コア・ファイターII-Eh|

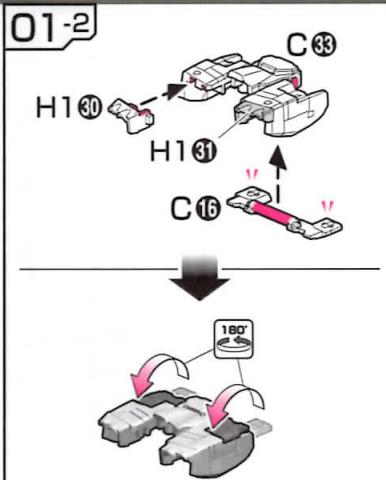
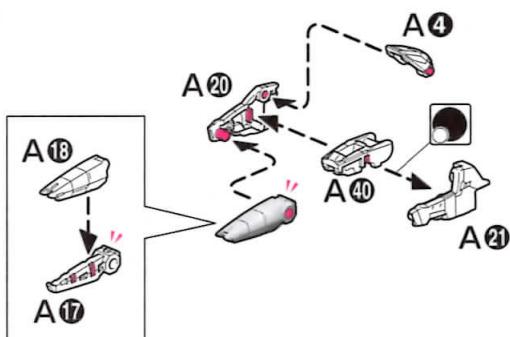
本来は主機の交換のみで対応可能であったはずの“GPO1”的宇宙用への改装は、大規模な設計変更を伴いつつ実施されることとなった。主な改造点は空力装備のオミット、メインエンジネーティングの高出力化、ピーム・ガン・サーバルユニットのレイアウト変更、熱核ジェットロケットから熱核ロケットへの換装、リバース・スラスターの追加装備など、コクピットブロック以外はほとんど新造されたと言っても過言ではない。プロペラントタンクを兼ねたユニバーサル・サービス・ポッドの増設は当初から纏り込み済みだったが、機体前後部のジョンソン構造に大幅な設計変更が施され、その拳動は宇宙戦闘機としては画期的な試みとなるはやすであった。結果的に、脱出カプセルとして、あるいは宇宙戦闘機としての運用実績はほとんど残されていない。

CORE FIGHTER II-Fb

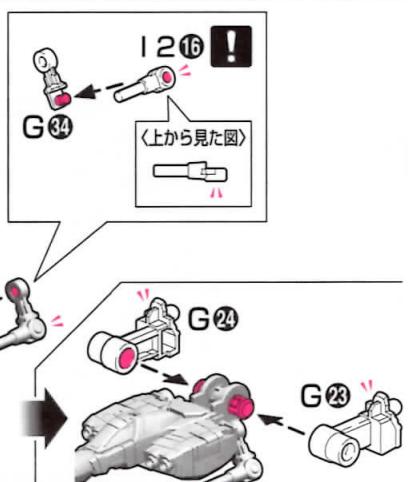
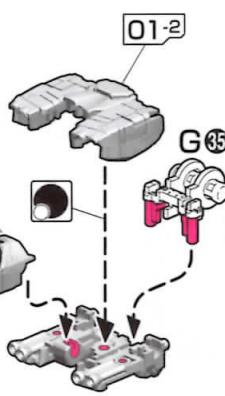
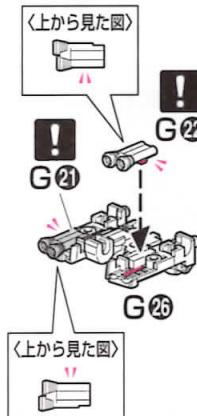
01-1 [コア・ファイターII-Fbの組立] CORE FIGHTER II-Fb



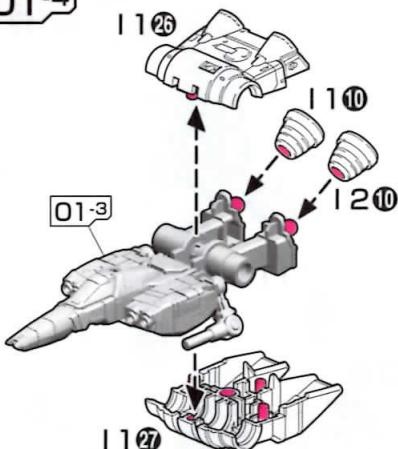
GUNDAM GP01R0 FULL BURNERN
E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT



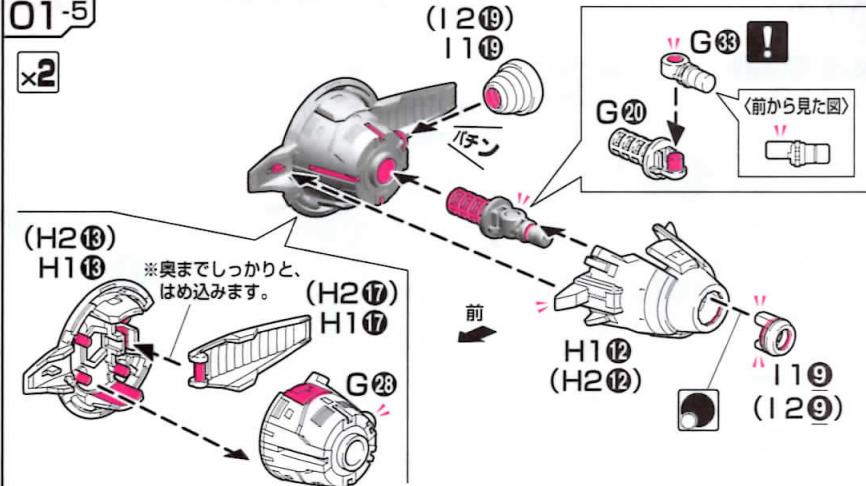
01-3



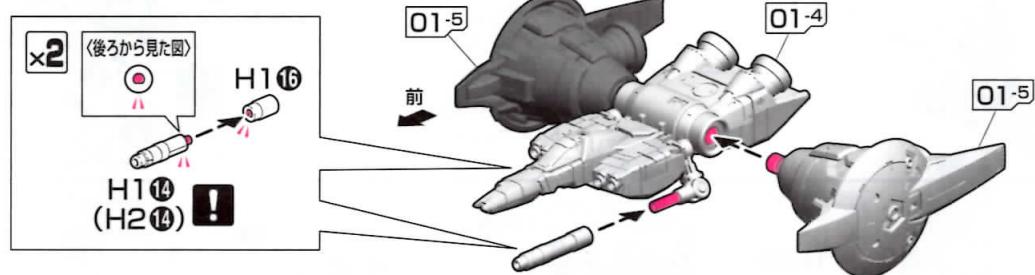
01-4



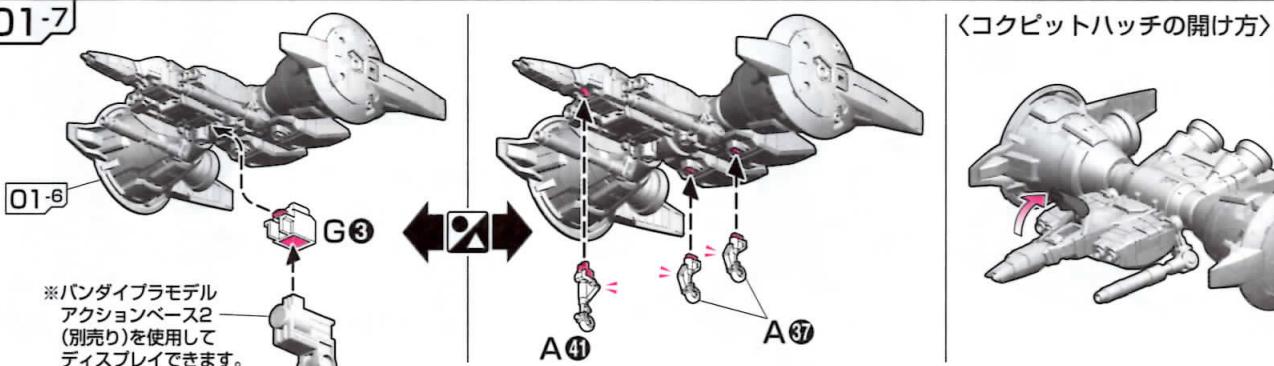
01-5



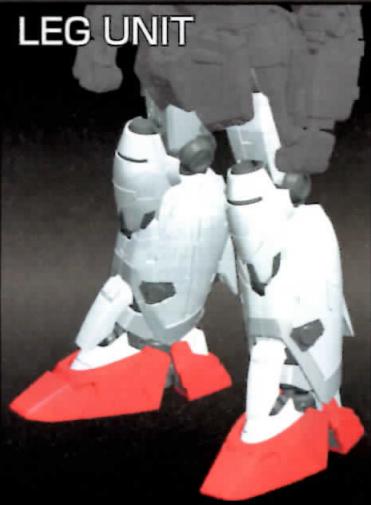
01-6



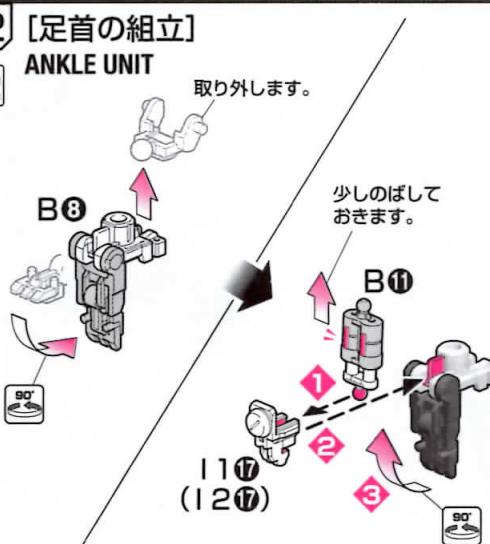
01-7



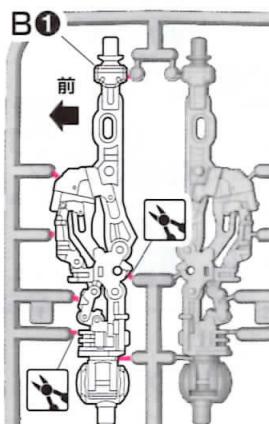
LEG UNIT

02 [足首の組立]
ANKLE UNIT

x2

03-1 [右脚の組立]
RIGHT LEG

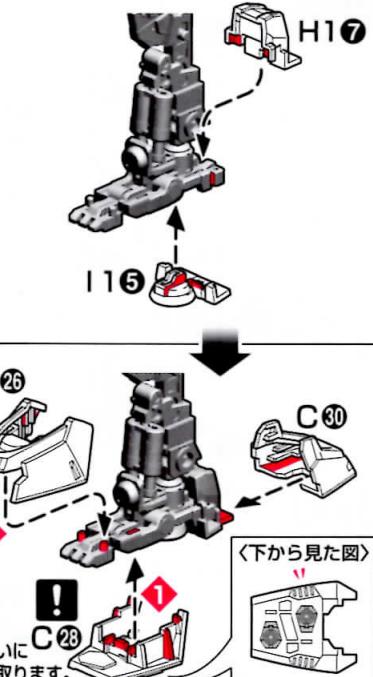
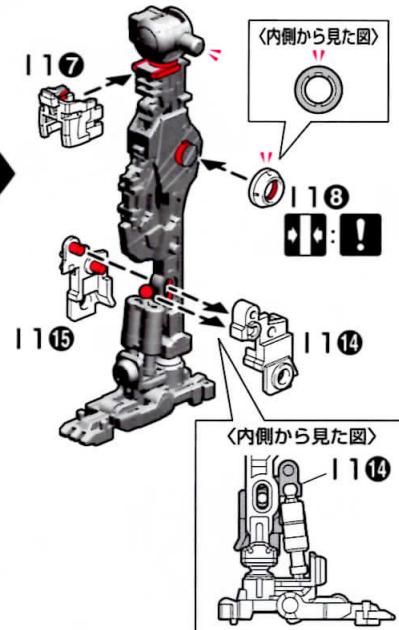
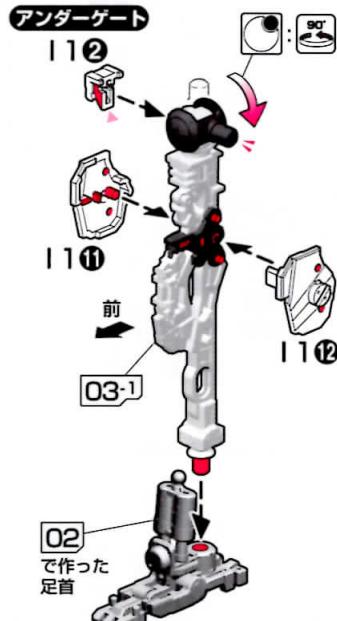
B-1



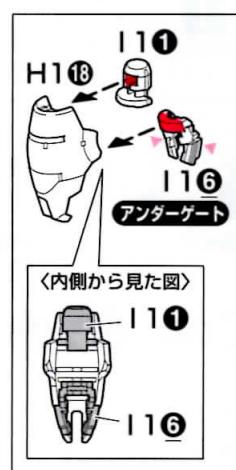
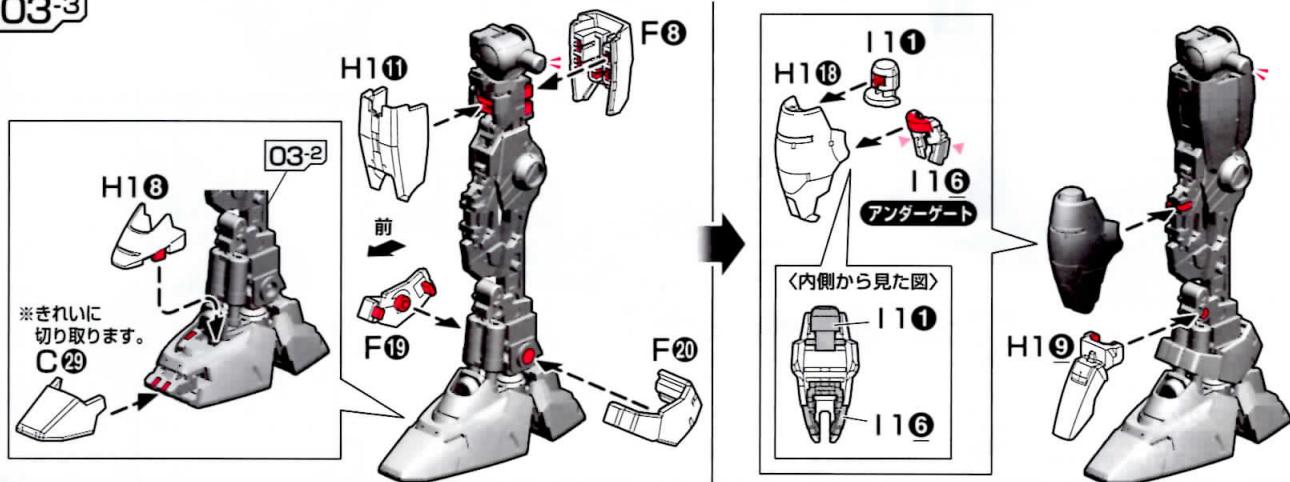
※ B-2(左脚)も同様に切り取ってください。

※組立図中の
記号説明x2 部品を数値の
個数作る! 向きに注意して
組み立てる! 後から
組み立てる! どちらかを選ん
で取りつける! 90° 数値に合わせて
回転させる! 切り取る
部分

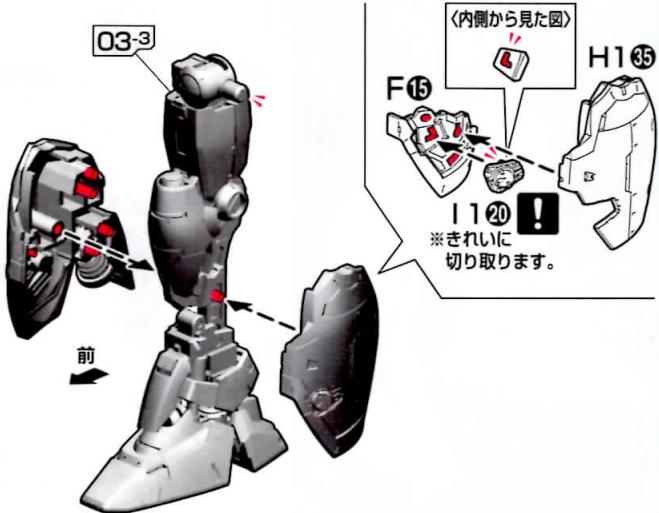
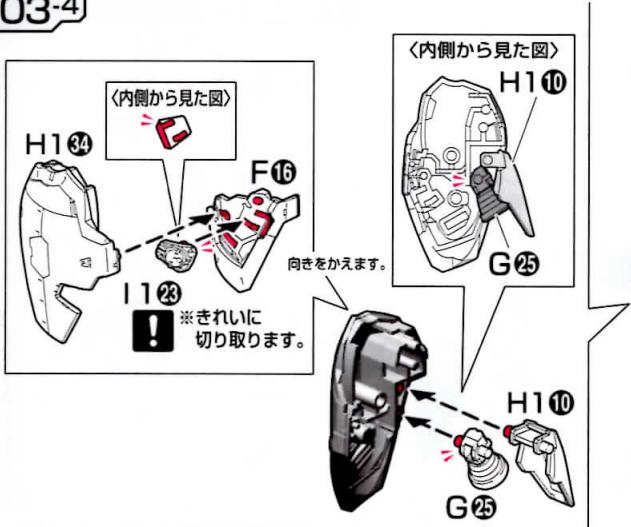
03-2



03-3



03-4



右脚の可動

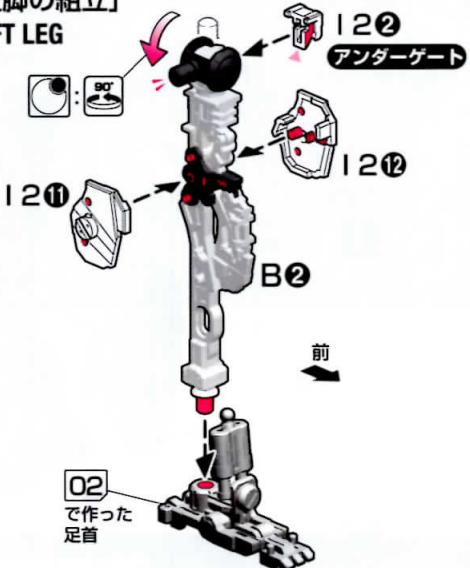
*可動させる際にはスライドする
装甲パーツを押さないでください。
フレームが破損する恐れがあります。



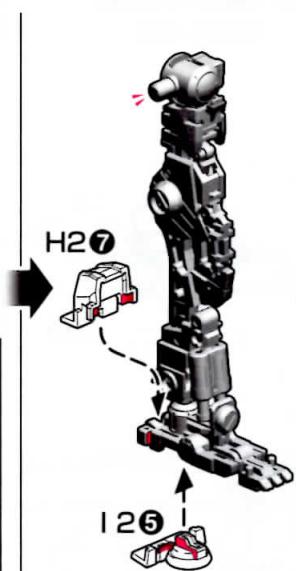
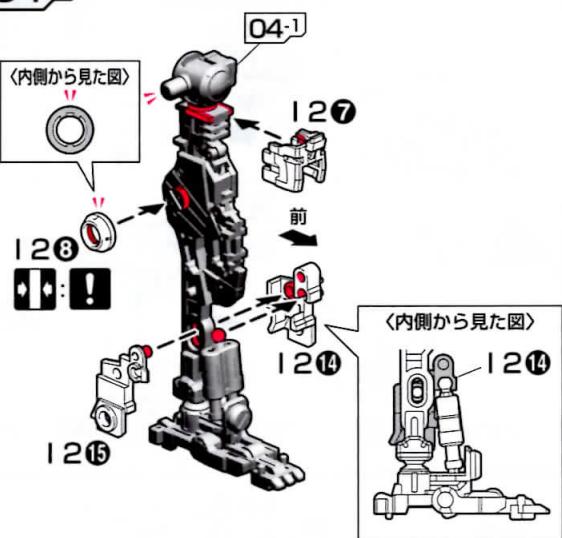
関節の動きと
運動して装甲が
スライドします。

*左脚も完成後、同様に動かしてください。

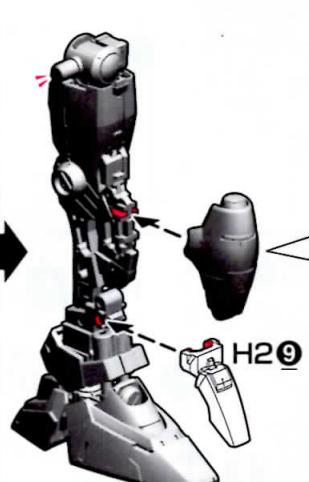
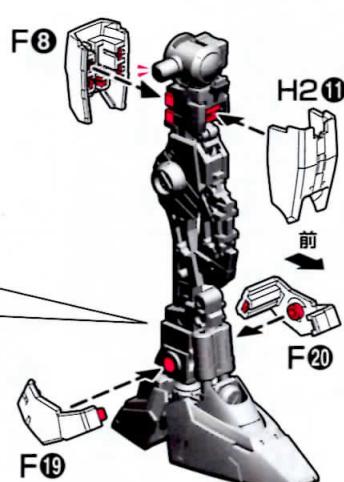
04-1 [左脚の組立] LEFT LEG



04-2



04-3



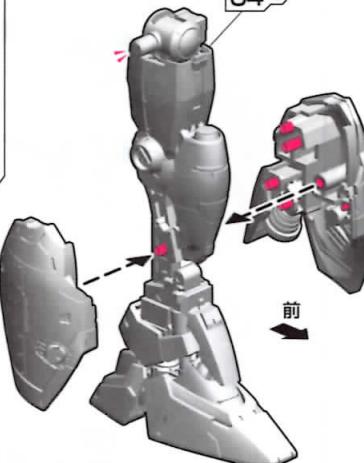
04-4

〈内側から見た図〉

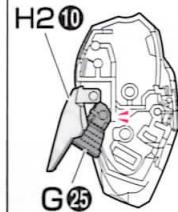


H133

04-3



〈内側から見た図〉



H210

F17

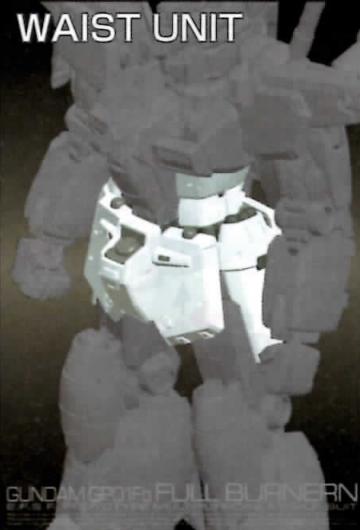
〈内側から見た図〉

向きをかえます。
*きれいに切り取ります。

H210

G25

WAIST UNIT

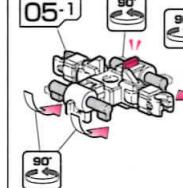
05-1 [腰部の組立]
WAIST UNIT

05-2

〈横から見た図〉

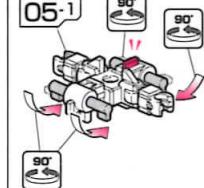
〈上から見た図〉

05-1



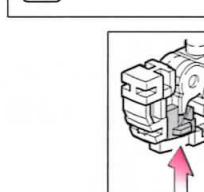
前

前



前

前

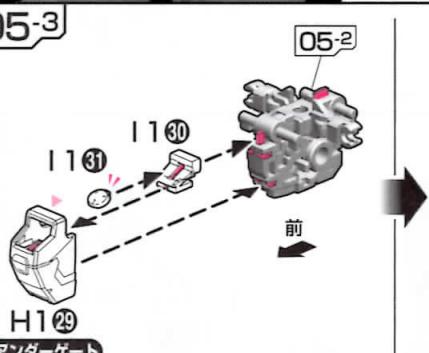


前

前

05-3

05-2



H124:H125

3

1

2

A8

1

2

3

I128

I129

向きをかえます。

H126

H127

3

1

2

3

I124

I125

1

2

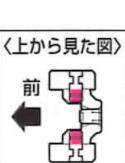
3

I124

I125

05-4

G2



H121 !

G14

H120 !

H120

!

H120



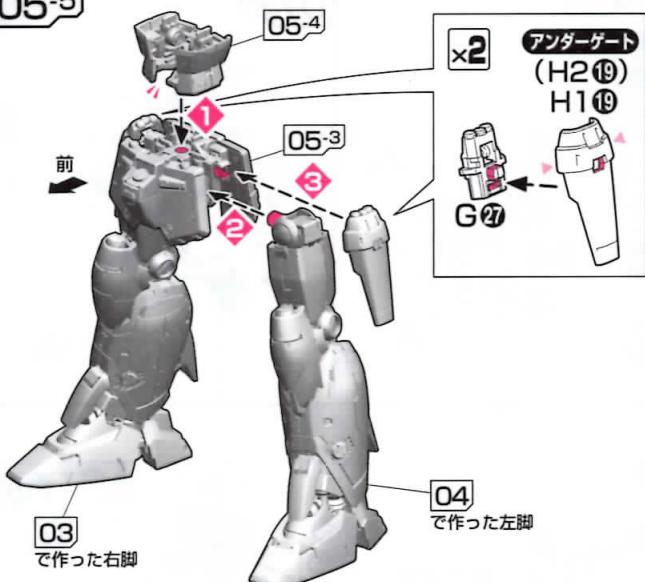
H123

アンダーゲート

H122

前

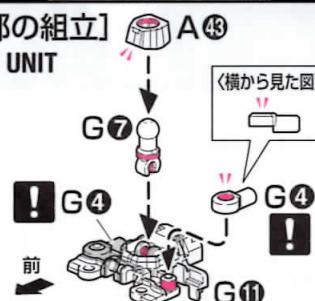
05-5



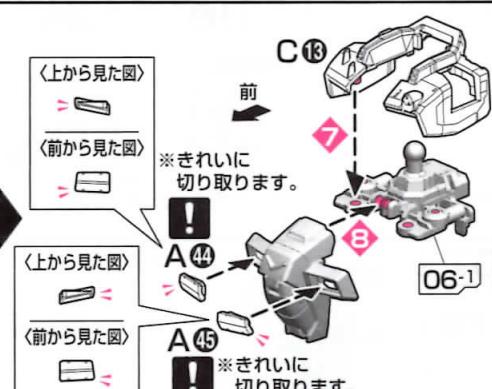
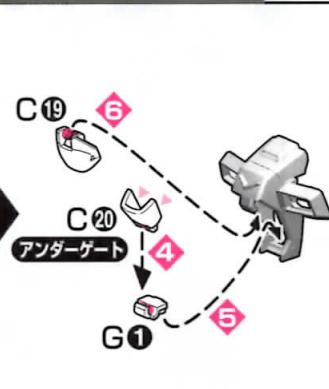
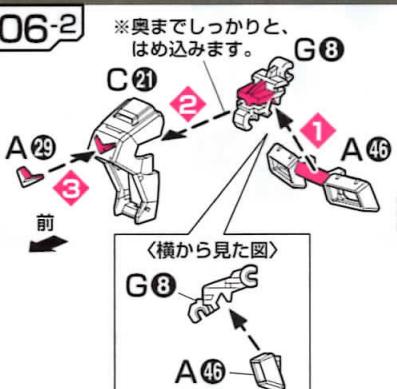
BODY UNIT

GUNDAM GPO1Fb FULL BURNERN
E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT

06-1 [胸部の組立] BODY UNIT



06-2



VERNIER

MSはもともとAMBAC機動（アクティブ・マス・バランス・オート・コントロール=能動的質量移動による自動姿勢制御）によって、既存の宇宙艦艇などとは次元の異なる機動性を実現した宇宙機器として誕生した。さらに、一年戦争における実際の運用法の蓄積に伴って、質量重心から離れた位置に取り付けたバーニアスラスターを積極的に併用することで、運動性や機動性を格段に向かうことが判明した。かくして、かつてはシンジバルが設置された位置で「首を振れる」範囲内でしかベクトルを調節できなかったバーニアスラスターは、多種多様な形状や運用法を獲得し、そのMSの性能を左右するほどの装備として認識されることとなつたのである。



ユニバーサル・ブースト・ポッド
プロペラントタンクと一緒にした自由度の高いバーニアユニットを、ヒンジとターレットで自在に変位させる補助機動装備。本来の「GPO1」設計案にも含まれていた。



※画像には
バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売)を使用しています。

*組立図中の
記号説明

x2 部品を数値の
個数作る

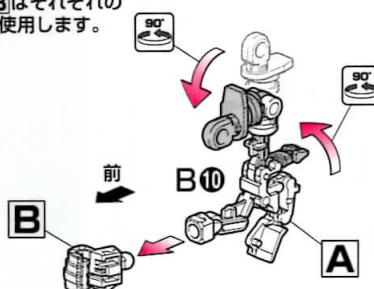
向きに注意して
組み立てる

ARM UNIT

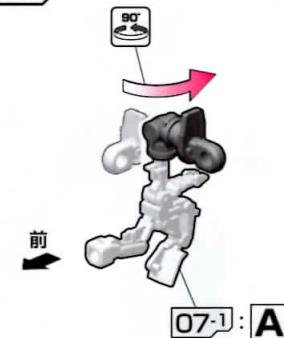


07-1 [右腕の組立] RIGHT ARM

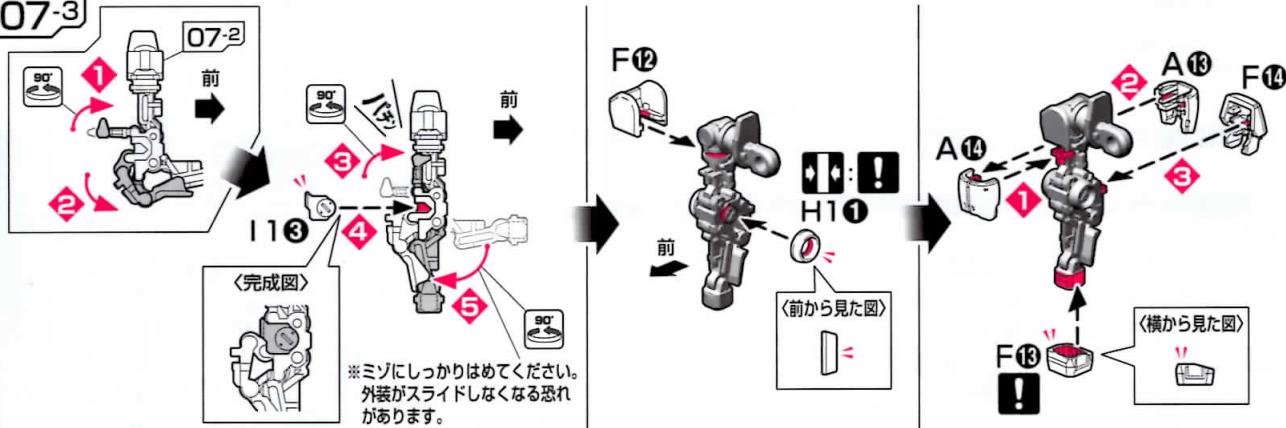
※A・Bはそれぞれの工程で使用します。



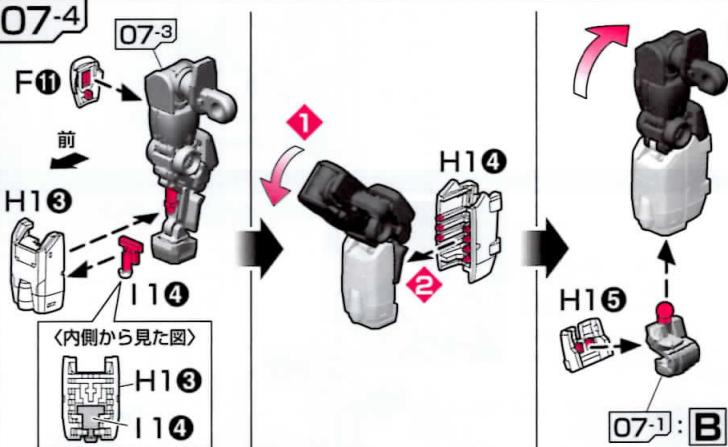
07-2



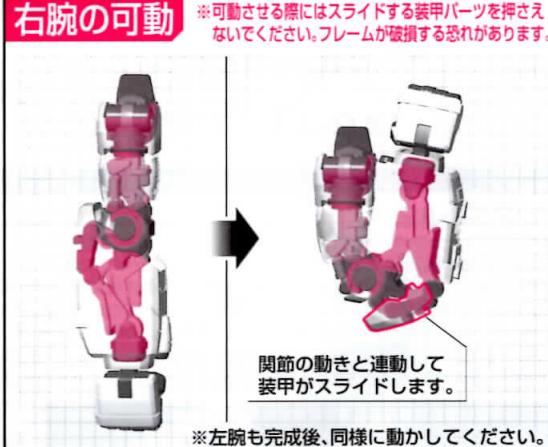
07-3



07-4



右腕の可動

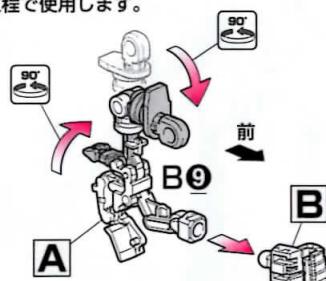


※左腕も完成後、同様に動かしてください。

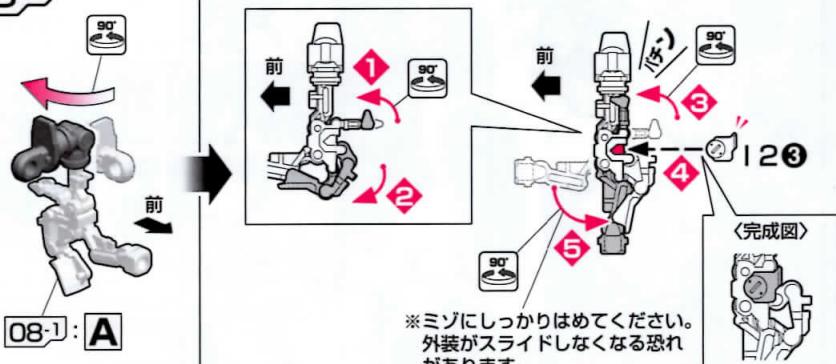
08-1 [左腕の組立] LEFT ARM

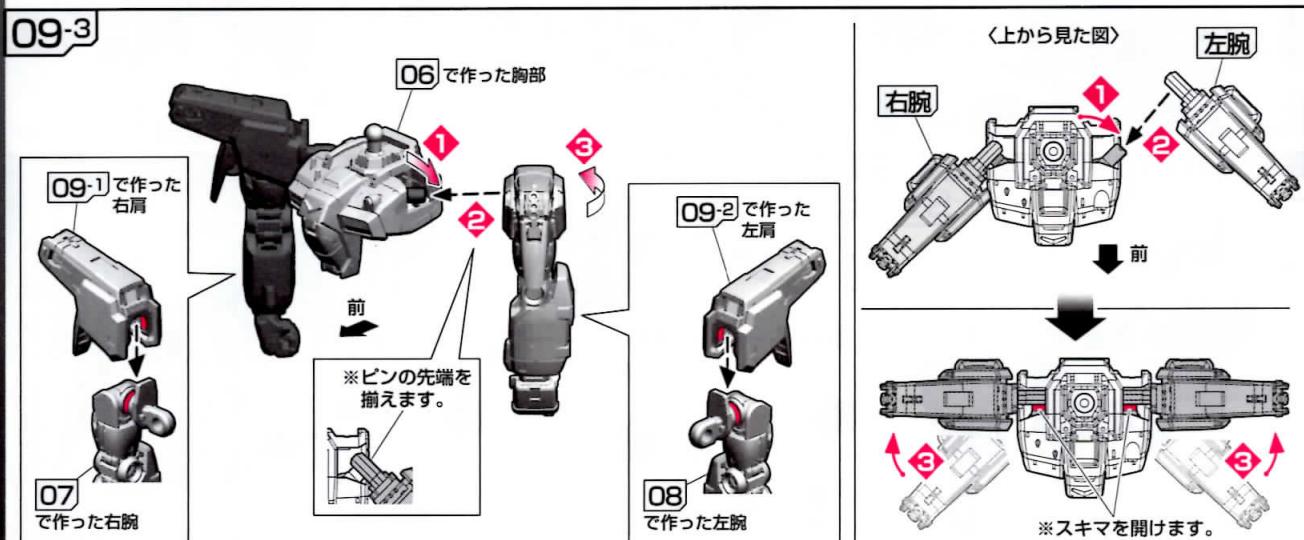
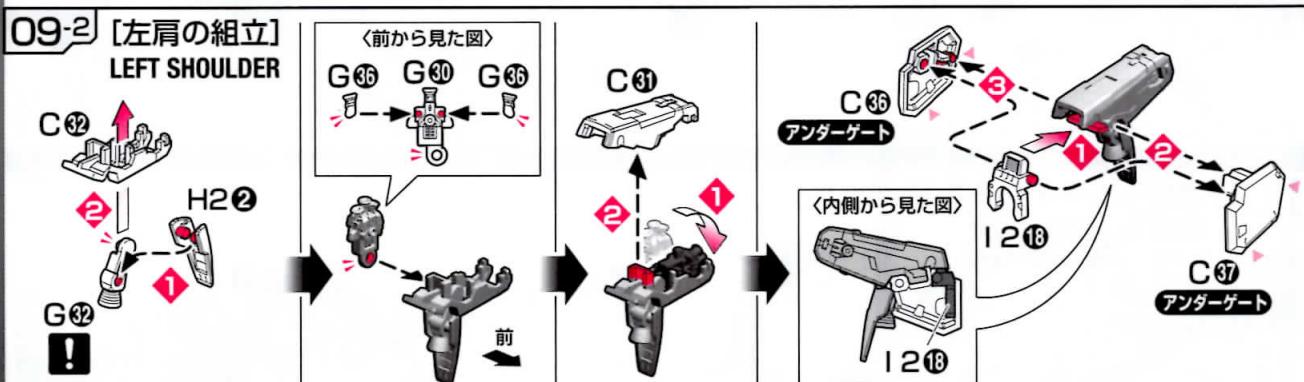
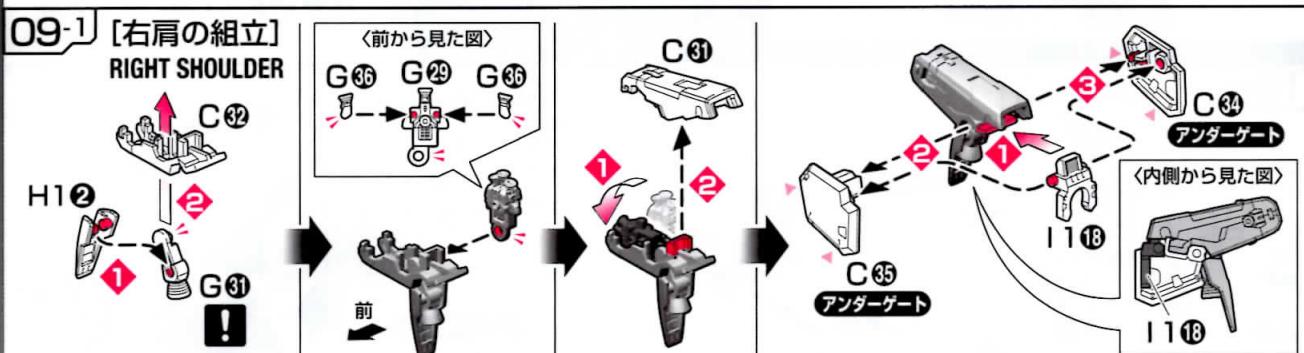
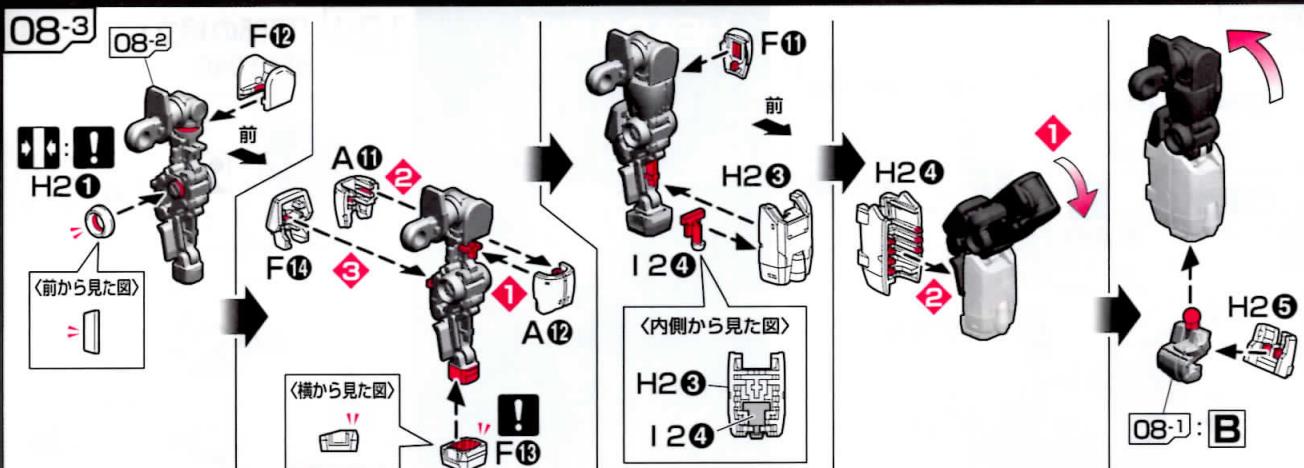
LEFT ARM

※A・Bはそれぞれの工程で使用します。



08-2





*組立図中の
記号説明

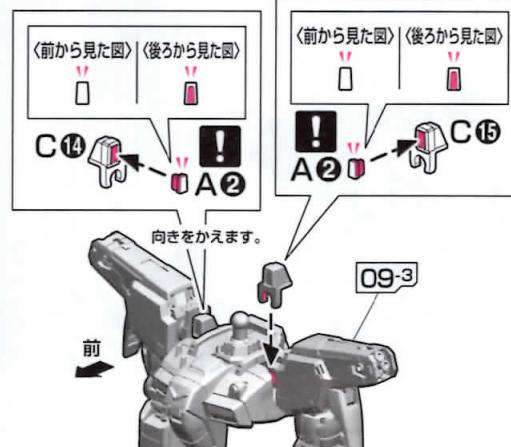


両側に同じ
パーツを取り付ける

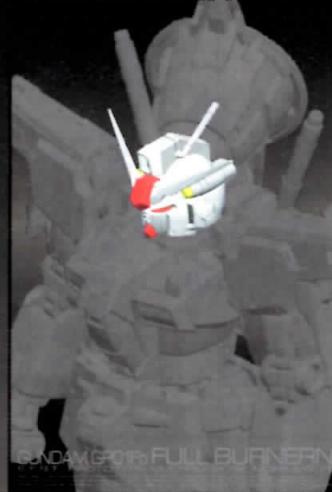
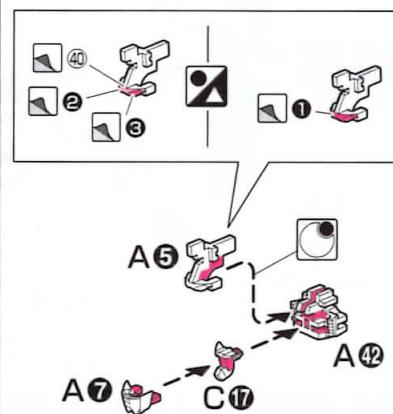


向きに注意して
組み立てる

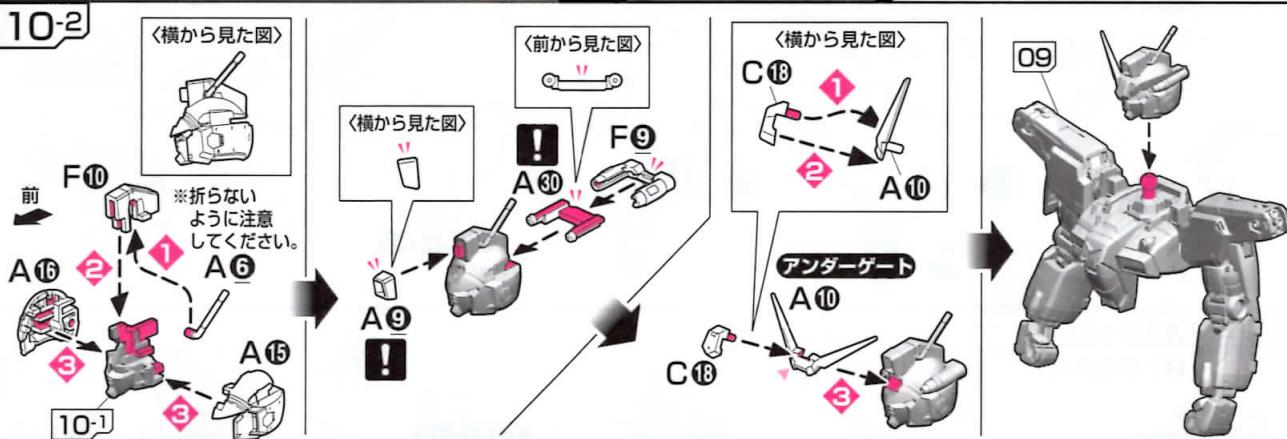
09-4



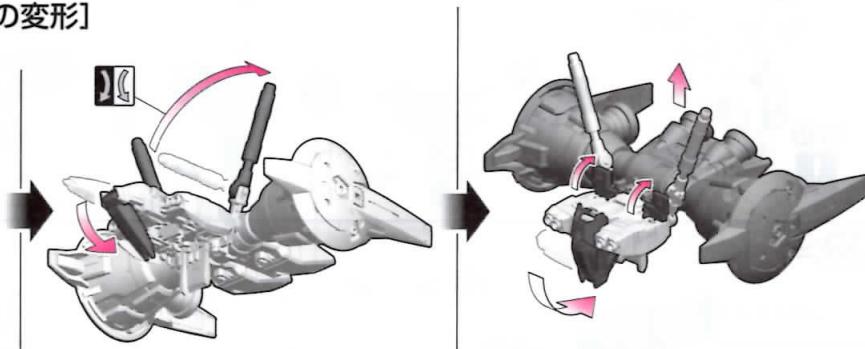
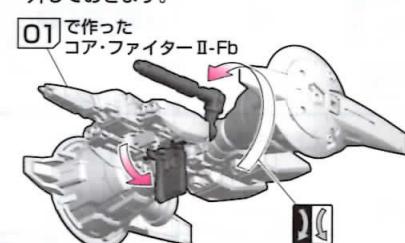
HEAD UNIT

10-1 [頭部の組立]
HEAD UNIT

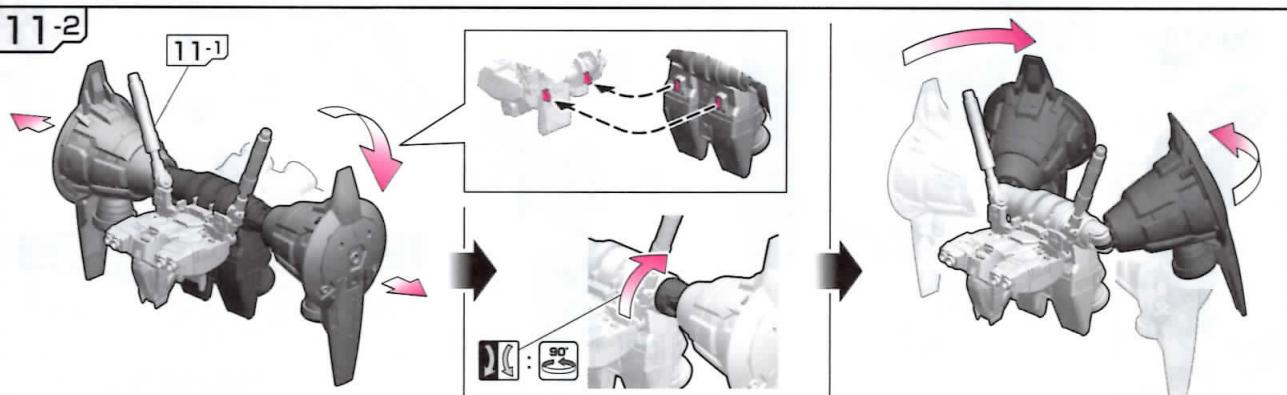
10-2

11-1 [コア・ファイター II-Fb の変形]
CORE BLOCK SYSTEM

※ランディングギア(A⑦、A⑪)、G⑩は外しておきます。



11-2



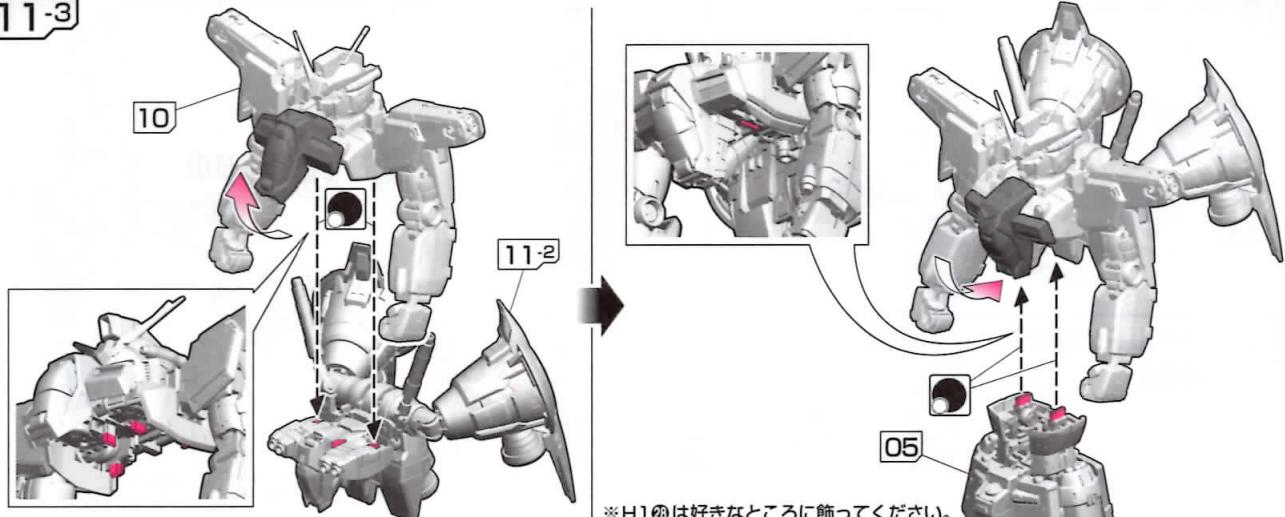
12

※組立図中の
記号説明向きに注意して
組み立てる① シール
の番号

どちらかを選んで取り付ける

先に
組み立てる両側を同じ
ように動かす数値に合わせて
回転させる

11-3



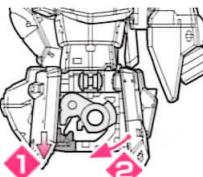
※H1⑩は好きなところに飾ってください。

11-4 <コクピットハッチの開け方>

<脚の可動範囲の広げ方>

※脚の可動範囲が広がります。

- 1 ロックを下げます。
- 2 股間軸を前に動かします。



- 3 ロックを上げます。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

WEAPON



| 60mmバルカン砲 |

GPO1Fbが頭部に2門装備する機銃。60mm口径の実弾を高速で連射し、至近距離であれば敵機に致命的なダメージを与える事が可能。



| 専用シールド |

アンチビームコーティングが施されており、ビーム砲の直撃でも数回なら防御することができる。携行や移送時に配慮して全長を短縮できるほか、ビーム・ライフルのエネルギー・パックを2基マウントすることができる。



| ビーム・サーベル |

コア・ファイターに装備されている状態でビーム・ガンとしても使用できる。その威力は当初ほとんど使い物にならなかったが、Fbへの改装に伴うユニット更新とジェネレーター出力の向上もあって有効な武装となつた。



| ビーム・ライフル |

当時としては画期的なエネルギー・パック方式を採用しており、トータルでの射撃可能回数が倍増している。近接戦闘時に敵機のソード系ビーム兵器を防御できる“ジッパー”をバレルの下部に装備しているのが特徴。

WEAPONS



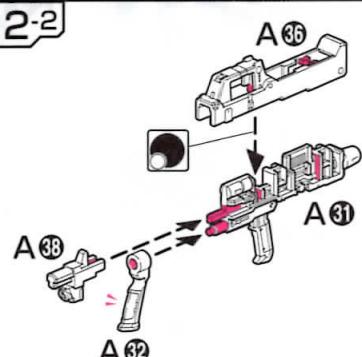
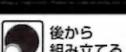
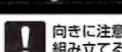
12-1 [ビーム・ライフルの組立] BEAM RIFLE

※きれいに

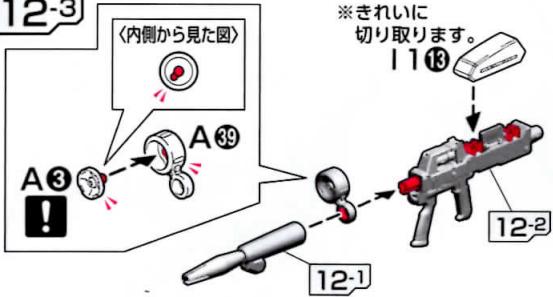
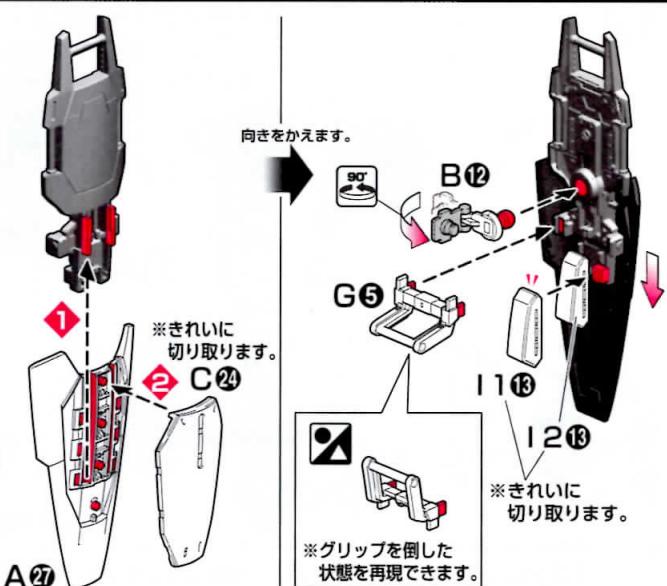
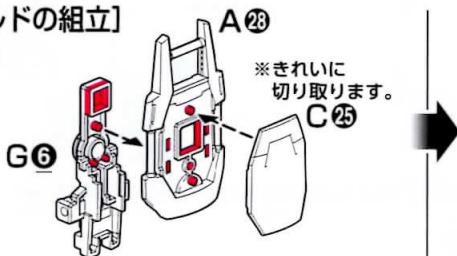
切り取ります。



12-2

※組立図中の
記号説明後から
組み立てる向きに注意して
組み立てる

12-3

13 [シールドの組立]
SHIELD14-1 [右手首の組立]
RIGHT HAND

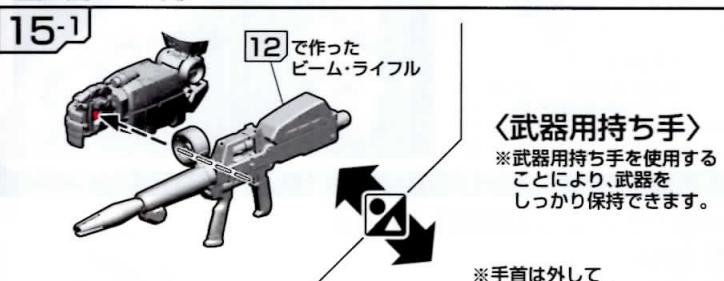
14-2

14-3 [左手首の組立]
LEFT HAND

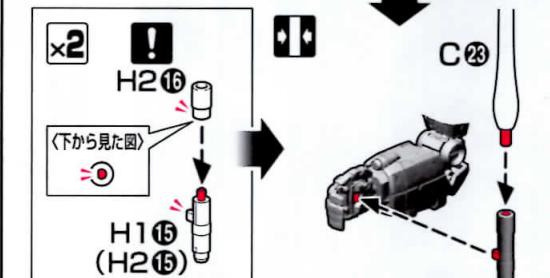
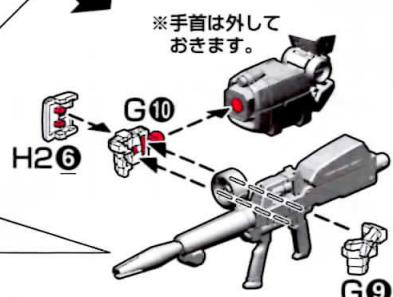
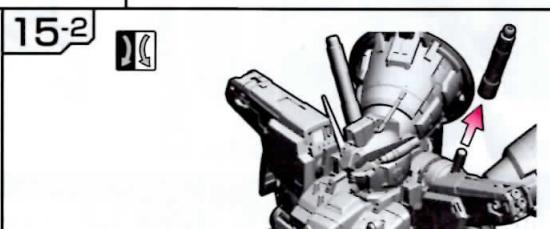
14-4



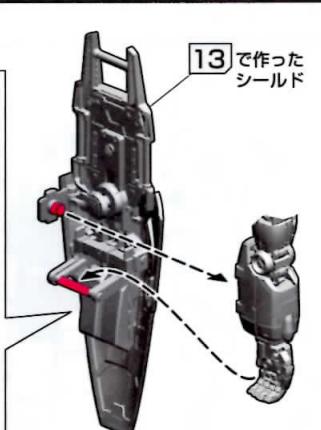
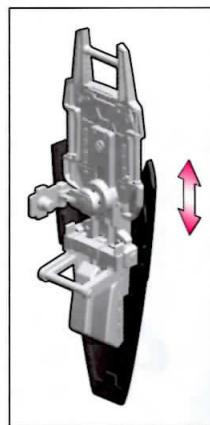
15-1



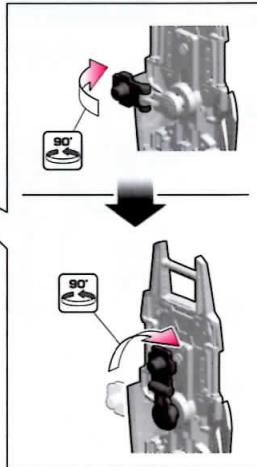
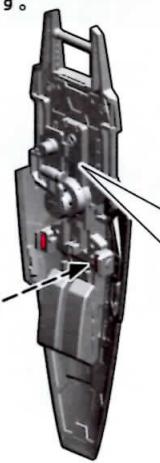
15-2



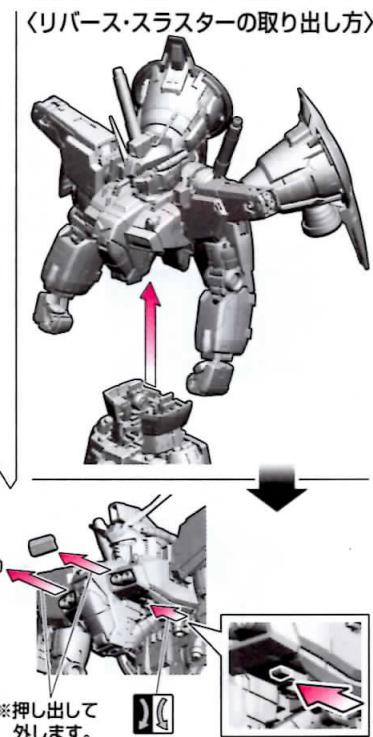
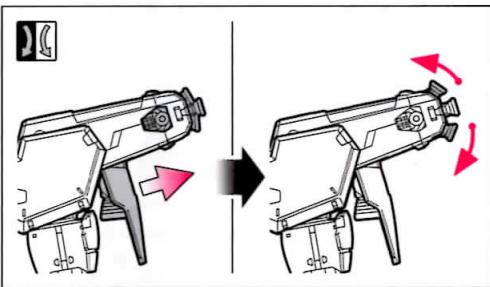
15-3



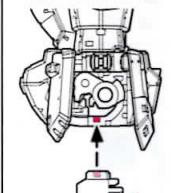
15-4 ※G⑩は外しておきます。



15-5



<横から見た図>



※説明のため、一部イラストを省略しています。

01-7
で使用したG⑩※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。

(お買い上げのお客様へ)万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号／商品名／部品の記号／部品番号／数量を明記していただき、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前／ご住所／年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html 「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 TEL 420-8681 静岡県静岡市葵区長沼 500-12
(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。Bパーツはランナー単位での販売です。

部品番号	取扱説明書	Bパーツ	リアリストイック テカール	その他の部品
部品代	150円	700円	300円	各60円
郵送料	200円	140円	80円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

0182655

1/144SCALE RGシリーズ
RX-78GP01Fb ガンダム試作1号機
フルバーニアン

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした・なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 年齢

(- - -) (- - -) (- - -) (- - -)

R2211987 13.07

2013.07/T · ON

※コピー使用可

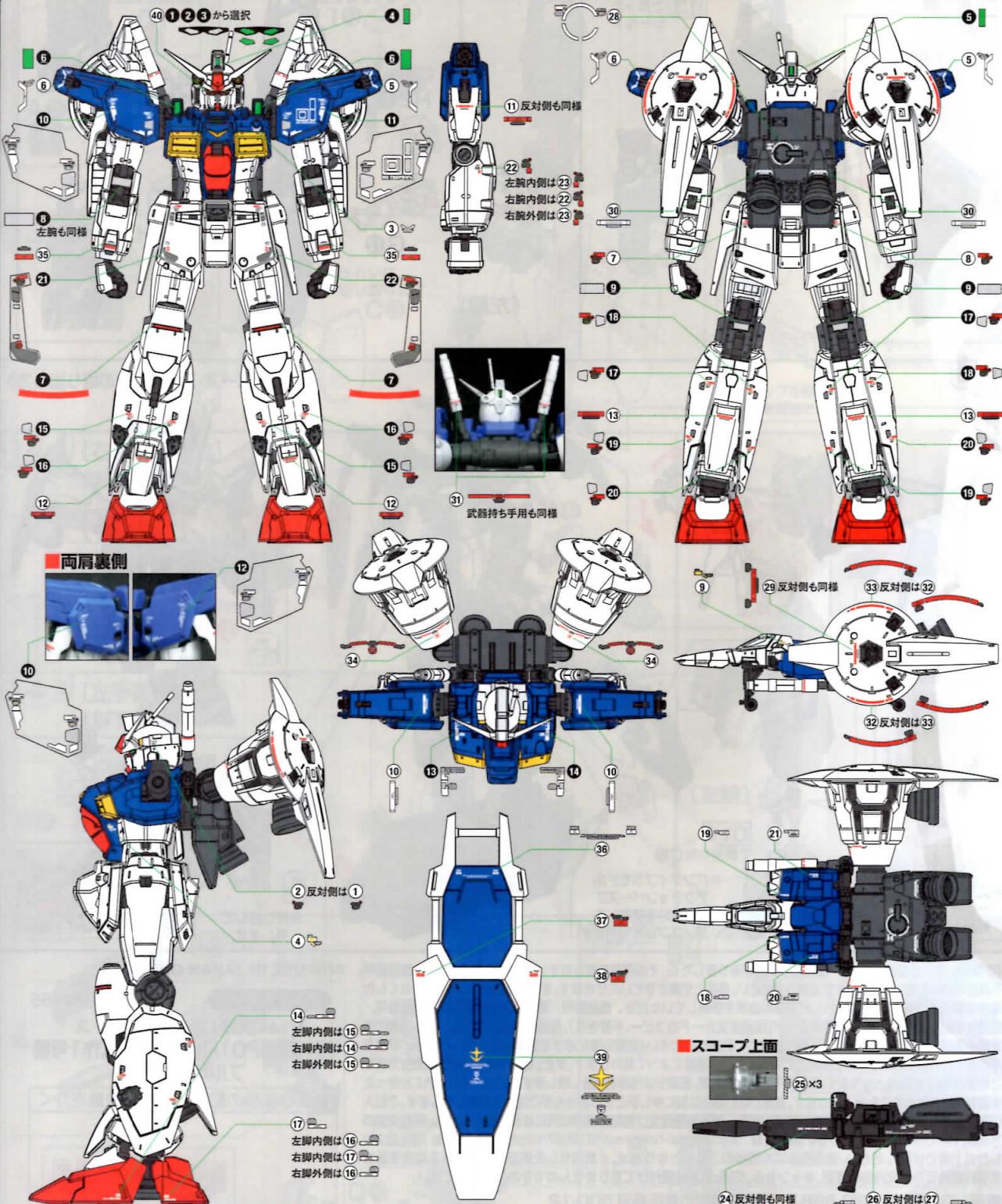
※組立図中の
記号説明数値に合わせて
回転させる両側を同じ
ように動かす

15

REALISTIC DECAL

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。

- ※マーキングシールを貼る位置を数字で表記してあります。
- ※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。
- ※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。※貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。



※このマーキングはプラモデルオリジナルのものです。※シールを貼る際にはピンセットなどのご使用をお勧めします。

COLOR CHART

※塗装を楽しみたい方は、右の基本色をご覧ください。

※塗装には、より安全な

「水性塗料」の使用をおすすめします。

※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れが

ありますので、塗装はおすすめできません。

※カラー配色は参考値であり、

画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

■本体等ホワイト部の塗装色。
ホワイト(100%)

■本体等イエロー部の塗装色。
ホワイト(95%)+オレンジイエロー(5%)

+ブルー(少量)

■胸等ブルー部の塗装色。
インディゴ(60%)+ホワイト(40%)

+ブルー(少量)

■本体等レッド部の塗装色。
モンザレッド(60%)+チャイナレッド(40%)

■インテーク等イエロー部の塗装色。
イエロー(55%)+ホワイト(30%)+
オレンジイエロー(15%)

■バックパック等グレー部の塗装色。
グレー(80%)+ブラック(20%)

■ビーム・ライフル等
ダークグリーン部の塗装色。
ブラック(70%)+ホワイト(30%)

■脚等の塗装色。
ホワイト(50%)+
薄茶色(50%)

■脚等の黒部の塗装色。
ブラック(100%)+
ホワイト(少量)

■脚等の黒部の塗装色。
ミドナイトブルー(100%)

+モードマーク(20%)

■脚マーク部の塗装色。
イエロー(60%)+オレンジイエロー(40%)

■脚グリーン部の塗装色。
グレー(100%)

■脚等ホワイト部の塗装色。
ホワイト(100%)

■脚等ミドナイトブルー部の塗装色。
ミドナイトブルー(100%)+ペールグリーン(少量)+ホワイト(少量)

■脚マーク部の塗装色。
モードマーク(100%)

■脚マークイエロー部の塗装色。
イエロー(60%)+オレンジイエロー(40%)

■脚グリーン部の塗装色。
グレー(100%)